第一回留学便り

2013 年 10 月 8 日
PRSP 班　外国語学部スペイン語専攻３年　多良奈那子
留学先：Universidad Autónoma de Madrid　（マドリード、スペイン）

（アルカラ門。写真を撮影した日が丁度オリンピック開催地決定日だったため、夜の開催地発表に向けてステージやフェンスが用意されていた。花火などの用意もあった。残念ながらマドリードではなく東京に決まったため花火などは使われずに撤去されたらしい…。）

お久しぶりです。9 月 4 日にスペインに到着してから一カ月が過ぎました。スペインはまだまだ昼間は暑く、22 度まで気温が上がります。半袖半ズボンで生活しています。少し遅くなりましたが、留学の報告をさせていただきます。

マドリード自治大学

私はスペインの首都マドリードにあるマドリード自治大学に留学しています。この大学は、マドリードはマドリードでも都市部から電車で 30 分の場所にあり、大学のまわりにはなにもなく、砂漠のような乾いた土地に囲まれています。「ここは本当に東京…?」と思わせる外大と似ています。買い物をするには電車で近くの街まで移動する必要があります。大学はとても広いです。哲学部、法学部、経済学部、理学部、薬学部など 7 つの学部があります。留学生は好きな学部、好きな授業を選ぶことができます。私は経済学部にはいりました。前期は開発経済、経済史、統計学、数理計画法、EU とスペインの関係、スペイン語の授業を履修しています。後期には計量経済学や国際経済などを履修する予定です。授業は午前 9~14 時、午後 16~21 時に行われます。私の履修した授業は大体午前で終わるのですが、まだ 14 時からお昼ご飯を食べるのに慣れません。毎日スペイン語で行われる経済の授業についていくのは大変ですが、スペインの視点で経済を習うことはとても興味深いです。また、Moodle というインターネットを利用した学習がとても発展しています。どの授業も Moodle にシラバス・授業のパワーポイント・参考文献/ウェブサイトなど様々な情報を載せています。宿題の提出も Moodle で行われます。予習を行うことができますし、参考文献を読むことで理解も深まります。外大もインターネットを利用して履修登録や成績管理ができるようになったので、是非 Moodle も開始して欲しいなと思います。

（大学。大学敷地内にある寮からとった写真。奥に見えるのが経済学部の建物。）

コミュニケーション

最近文化の違う人とコミュニケーションをとることが楽しいです。マドリード自治大学には日本人が私以外に６名ほど留学していますが、彼らと同じ授業は一つもありません。どの授業も友達とはスペイン語か英語で話す必要があります。私はまだスペイン語のレベルが高くないので、スペイン語に詰まった時は英語を利用しています。スペインは EU の中で比較的英語が通じないと言われていますが、大学生はある程度英語を使えます。言語が理解できても、文化の違いによるものの考え方や価値観の違いなどがあり、話が全然通じないこともあります。将来、様々な国の人と関わる仕事に就きたいと思っているので、この留学の機会を利用し、たくさん異文化コミュニケーションの経験を積みたいと思います。少しずつ自分の常識や価値観を広げていきたいです。

ではジュネーブ合宿みなさんにお会いできるのを楽しみにしています！

（マドリードのプラド美術館の裏にあるレティロ公園。ヨーロッパはどんなに都心でも必ず公園が整備されている。）

（留学生のサッカーチーム。レティロ公園のサッカーグラウンドで毎週土曜日に行われている。覚えたスペイン語は“Salió!!!”「（ボールがラインの外に）出たよ!!!」）